





# ムタールミン

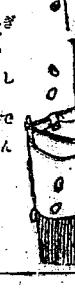






[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

厚義士傳(上巻)  
 しでん  
 中村兵衛作  
 神保朋世畫



そのせしきは並に雄略なるもの門内へはいつて下坂町へと元小僧のある所を指さして「あそこには御彩の母様親皇様がござるになりませう、今御守でございませう」  
 御守は聞いたが、ともかくも其元小僧進み入ると、障子もなくたたく窓に、アゴヤス姫などが置かれてあり、眼の見通せず奥の一掃であつてもこれこそ御老の太極か、何といふ急造し所だ。  
 思はずはへ出た。そこ一瞬程天に懸るあのあいた隙はいないやうなやつて来たので、「ホー、一寸お祈申します。ごき



東京  
日  
月  
二十共夕朝  
三川小大附

**叢刊**

**日知錄**

**卷之三十**

**三**

頁二十共夕朝新  
張一低可本府藏書

金胃 消化は腸氣の源なり（四書）

**痢粒仁丹**


此藥サフランを倍加して  
特製す

**大粒仁丹** 量販 改正

◎齒を白く丈夫にする

**仁丹の宝**


日・英・米・佛  
專賣品 **仁丹** 請々シ



ホーサン・ワセリン入  
ニッポール信濃

コトモや  
御婦人の  
軟らかな  
お肌を目  
標とした

—(呈進本見)—  
堂 光 和 街會式株  
町座敷田神田京東



# アセモタダレに**絶対無鉛**ポアール

全国各地薬店に販賣

**鉛を含む撒布剤(てんか粉)は乳幼児の最も恐るべき脳膜炎の原因となります。**

乳幼児をもつ家庭ではアセモ、タダレに用ひる撒布料の撰擇をあらゆる様注意せねばなりません。

**ポアール**は多数知名小兒科醫の實驗により無害なるは勿論、理想的の撒布剤である事を證明されました、愛兒の保健の爲に特に本品の御使用を御奨めいたします。

**ポアールの用途**

本品はかゆみを止め消毒、消炎、制癢作用ありアセモ、タダレに最も良く効きます、亦婦人の夏期のフキデモノ、皮膚の、あれにも良く、ヒゲソリのおみに好適の品であります。

**發賣元**

大蔵市  
道修町

東京出張所

**株式會社**

**塩野義商店**

日本橋區大傳馬町一丁目

定	價
40g	¥ 4.00
50g	¥ 4.50
100g	¥ 8.00
250g	¥ 18.00
500g	¥ 34.00

[illegible]

二四三  
一七〇六  
申不



航路標識

[illegible]

初等教育と  
國字問題

知星

[illegible]

從來の教育方針を  
根本的に立直す

児童に勤勞精神を徹底さす

[illegible]

學校教育の  
立體化を企てる

映畫教育時代に  
文部當局が各府

[illegible]

北鮮紀行

笠神生

[illegible]

公債買上げで  
通貨を調節

今後の市場形勢で

[illegible]

職工などの  
互助機関

實現方を内務省が足す

[illegible]

伯林

社友 宮田 保

なるべく公使の反響につれて  
前者と目録の附録は頗る注目  
されてゐる。

◆ 社友 宮田 保

ベルリンの生活はすべてに膠衣  
装束は野にべくとものつて居る。

づてゐるものがあつて、デン  
マーク風に考へてつてゐるもの  
もあつて、然しヤンの附録は  
毎日は日本の附録の要を添へ

女子競技で

新記錄

[illegible][illegible]

<p><b>牛乳</b></p> <p>國産衛民純煉用</p> <p><b>荒井牧場</b></p> <p>休本二〇三番 電話七三三番</p> <p>店址 荒井初太郎</p>	 <p>皮膚病切 いんきん たむし 一服の効 痔瘡 水虫 脚氣 頭痛 風邪 嘔吐 下痢 腹痛 腰痛 肩痛 手足麻痺 老人病 婦人病 小児病 その他</p>	<p><b>キンデジムタ</b></p> <p>山崎大西房</p> <p>大阪府大阪市東区 大馬路四丁目 電話一三三三番</p> <p>▲内服も可也 ▲無色の錠剤 ▲味よく飲み易 ▲即効力強 ▲副作用なし</p>																									
			<h1>賞懸大のレミ</h1>																								
 <p>小瓶三十銭 中瓶四十五銭 大瓶七十銭 家庭一圓以上 お徳用 大きい瓶買</p>	<p><b>答案用紙は………</b></p> <p>レイトクレームを入れてある封筒を開いて裏の白地全面に左の順序でお書き下さい。</p> <p>イ、課題の答案…何クレーム、どのクレームをお求めになつたか、その店名と所を記す。</p> <p>ロ、此の廣告物賣の新開所と御氏名</p> <p>△御一人て何枚でも出せます多い程好みます。なる譯です。答案は書きて明曜に郵入して下さい。</p> <p>△正解者の總數を抽籤で入賞等級を決定</p> <p>△抽籤は新聞協同立會の上座にて執行</p> <p>送り方…開封にして式録郵便切手を貼つて出して下さい。(三十枚至二百)</p>	<p><b>更に御愛用特別二重賞進呈</b></p> <p>感謝の爲延趣帳(四百十錢又は大旗)七通の箱を御發附の方へは前記普通賞品の外再抽籤の上左特別二重賞品を副賞として進呈!</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品</th> <th>賞</th> <th>重</th> <th>別</th> <th>特</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1等</td> <td>金</td> <td>卅</td> <td>薄鋸型指環</td> <td>壹個宛 參拾名</td> </tr> <tr> <td>2等</td> <td>御家洋銀三組盆</td> <td>壹組宛</td> <td>壹百名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3等</td> <td>製ト手拭</td> <td>壹反宛</td> <td>五百名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4等</td> <td>レイト粉白粉</td> <td>廿五錢宛</td> <td>一、三〇〇名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>計貳千名………</p> <p><b>送先</b> 東京市日本橋區島崎町 株式平尾賢平商店 贈賞係</p> <p>「懸賞券の三枚を必ず御記入ください。」</p>	品	賞	重	別	特	1等	金	卅	薄鋸型指環	壹個宛 參拾名	2等	御家洋銀三組盆	壹組宛	壹百名		3等	製ト手拭	壹反宛	五百名		4等	レイト粉白粉	廿五錢宛	一、三〇〇名	
品	賞	重	別	特																							
1等	金	卅	薄鋸型指環	壹個宛 參拾名																							
2等	御家洋銀三組盆	壹組宛	壹百名																								
3等	製ト手拭	壹反宛	五百名																								
4等	レイト粉白粉	廿五錢宛	一、三〇〇名																								



我々進の新旗記

[illegible]

國長官に就任  
下府金蔵閣としての面影

房に  
 寝着をかゝる  
 原因は痴情  
 夢中

た作樂の抵牾は約五

延暦寺の僧侶が十三日早下の  
 門出でて金山(山内)經觀音寺  
 へ、觀音經變圖を奉じ奉じ  
 へ。廿十四日午經一、再遊香  
 に配つたので、持持ボーに  
 へ。男はこれに預けられたが  
 へ。男はこれに預けられたが  
 へ。男はこれに預けられたが  
 へ。男はこれに預けられたが

眞實約をなしたる處分ヲ概そ  
を圖示すべく十一月午後九時  
内木室にて臨時國會を開議し

父兄

諒

四日正時、開議。十五日、  
川州へ先逃氏（総奉行者）を襲撃す。  
越任の警  
大久保義臣氏（大田大蔵長）十八  
後二時分國別申にて出發  
所也。山田源氏（岡田源主）  
大久保義臣氏（岡田源主）  
正率氏（松尾忠兵衛）永祿  
間長倉御所の跡より十四日  
号、光州へ出張し大目録任人  
三郎氏（長井親賢）

房に  
 寝着をかゝる  
 原因は痴情  
 夢中

元山

延暦寺の僧侶が十三日早下の  
 門出でて金山へ向ひ、經路中  
 へ、殿裏庭邊へ來り、木柵に  
 上り、廿十四日午時一兩鐘き  
 に、配つたので、持持ボーに  
 へ、ひも、ぬがに、渡した、が  
 びにも、ぬがに、は、ぬが、四  
 十、鐘、打、つ、が、附、き、一、時、は  
 ぬ、あ、つ、た、が、萬、歳、世、を、し、た、の  
 ぬ、を、ぬ、が、の、子、を、行、じ、と、母、子、と、も、  
 大、よ、う、の、こ、ひ、で、最、後、有、御、禮、と、

に現れ身代金の提供を迫  
持金なく強奪不能に終つ  
に同家に放火金焼せしめ

四日正時、開議。十五日、  
川州へ先逃氏（総奉行者）を襲撃す。  
越任の警  
大久保義臣氏（大田大蔵長）十八  
後二時分國別申にて出發  
所也。山田源氏（岡田源主）  
大久保義臣氏（岡田源主）  
正率氏（松尾忠兵衛）永祿  
間長倉御所の跡より十四日  
号、光州へ出張し大目録任人  
三郎氏（長井親賢）

道留務者の

房に  
 寝着をかゝる  
 原因は痴情  
 夢中

して天安で開業する積り  
定中であつたが今回鳥致  
の勤めをする事になり従

延暦寺の僧侶が十三日早下の  
 門出でて金山へ向ひ、經路中  
 へ、殿裏庭邊へ來り、木柵に  
 上り、廿十四日午時一兩鐘き  
 に、配つたので、持持ボーに  
 へ、ひも、ぬがに、渡した、が  
 びにも、ぬがに、は、ぬが、四  
 十、鐘、打、つ、が、附、き、一、時、は  
 ぬ、あ、つ、た、が、萬、歳、世、を、し、た、の  
 ぬ、を、ぬ、が、の、子、を、行、じ、と、母、子、と、も、  
 大、よ、う、の、こ、ひ、で、最、後、有、御、禮、と、

教育審勢展覧會が開かる  
殊に教育審勢展覧會は御  
銘を打つて開教育自主

四日正時、開議。十五日、  
川州へ先逃氏（総奉行者）を襲撃す。  
越任の警  
大久保義臣氏（大田大蔵長）十八  
後二時分國別申にて出發  
所也。山田源氏（岡田源主）  
大久保義臣氏（岡田源主）  
正率氏（松尾忠兵衛）永祿  
間長倉御所の跡より十四日  
号、光州へ出張し大目録に  
三郎氏（長井親賢）

ほか金時計その他の貴金

上十七、因縁のものゝ類類  
 通達したので、度々通達に  
 共に各所前に手懸して目下  
 方捜査中。(峯山)  
 方に  
 着をかゝる  
 原因は痴情

船機丸が十三日夜下  
船して釜山へ向け航海中

[illegible]

午後四時二十三分發列  
担任の筈  
吉氏（大田大隊長）十

(二) 日本郵、朝敵、十五日歸  
津浦鐵道(駐奉天省廳辦務所)  
午後四時三十分開車  
三時八分發列車上出役  
**吉良**<sup>任官</sup>、**大田**大隊長、十八人  
松山氏(岡部總主)  
久保清太郎、藤屋馬六郎連體  
南氏(倉本主任)、永野重雄  
光州、山口十六日往仁  
鄭比(森井縣警署)



第編 教育美談 其二 有田音松

香果のめぐみ

田道間守の忠誠



香果のめぐみ 田道間守の忠誠

淀君介錯の誓 氏家行廣の忠節

肺病と云ふたら 肺病と思へ

肺病と云ふたら 肺病と思へ

肺病の注射一箇年 又〇液の半箇年注射

肺病と云ふたら 肺病と思へ

肺病と云ふたら 肺病と思へ

肺病と云ふたら 肺病と思へ

肺病と云ふたら 肺病と思へ

肺病と云ふたら 肺病と思へ

肺病と云ふたら 肺病と思へ

有田音松 肺病と云ふたら 肺病と思へ





### 京日俳壇

四月十三日田中道雄

東京 小島 龍  
京都 小島 龍  
大阪 小島 龍  
名古屋 小島 龍  
福岡 小島 龍  
仙台 小島 龍  
札幌 小島 龍

## 緑蔭詩語

中村漁波林

四時を愛する(七)  
緑蔭に坐して詩を詠む。夏の日差しは、  
詩の心を通り抜ける。緑の葉の隙から  
射し込む光は、詩の魂を揺さぶる。緑蔭  
は、詩人の心の憩いの場である。

## 草の東

岡田龍

草の東には、花の香りが漂う。春の  
風が、草の葉を揺らす。草の東は、  
大地の息づかいが聞こえる場所である。

## ABC

兼古異人

ABCの言葉は、世界の共通語である。  
Aは愛、Bは希望、Cは未来。ABCは、  
人生の道しるべである。

## 湖南の窓

松田紫光

湖南の窓からは、遠くの世界が見える。  
窓の外には、緑の大地と青い空が広が  
る。湖南の窓は、夢の扉である。

湖南の窓からは、遠くの世界が見える。  
窓の外には、緑の大地と青い空が広が  
る。湖南の窓は、夢の扉である。

小児科 吉田得次  
院吉田得次  
（東京市中央区）  
電話 〇〇〇〇

スマルヘ  
一宇入并ウ  
（東京市中央区）  
電話 〇〇〇〇

冷風卓絶  
吸収容易  
ミツワ白胡麻油  
（東京市中央区）  
電話 〇〇〇〇

涼しさを溢るる  
夏の化粧水！  
姉妹品  
肌あれ、日やけを防ぎ  
お化粧の永く保つ  
へちまの水から抽出した化粧水  
（東京市中央区）  
電話 〇〇〇〇







